

7/24 水 第39回 会員のつどい

会場/グランドエル・サン

鶴岡商工会議所会員並びに招待者、約450人より参加いただき開催しました。

当日は鶴岡酒造協議会より協力いただいた「日本酒美人雪女神」銘酒コーナーや鶴岡菓子協同組合より協力いただいた「美菓の古道」スイーツコーナーも設置され、大吟醸酒や夏菓子を楽しみました。アトラクションでは、AKIKO フラメンコスタジオによる華麗なフラメンコダンス、会員企業提供の豪華賞品が当たる大抽選会が行われ大いに盛り上がり、会員同士の交流を深めました。



経営力強化セミナー

講師/中小企業診断士 三上康一氏



10/3 木 4 金 経営分析講座 持続的発展を目指す会計講座
10/28 月 経営力向上計画作成講座

常に変化し続ける経営環境で経営を継続していくためには、自社を取り巻く環境のみならず、自社に対する客観的な分析と戦略が重要であることを学びました。



10/19 日 20 回

鶴岡工業高等専門学校 保護者向け 企業説明会

会場/鶴岡高専 視聴覚室
主催/鶴岡商工会議所 雇用 人材育成委員会
共催/鶴岡地区雇用対策協議会

鶴岡高専1年生から4年生の保護者を対象とした地元企業説明会を、高専保護者会の開催に合わせて2日間実施しました。

この説明会は、毎年多くの高専生が県外企業に就職されている現状に対し、まずは学生のご両親に地元企業の魅力を改めて知っていただき、お子さんの進路選択の際、地元就職を後押ししていただけるようにと、当会議所雇用人材育成委員会主催で開催したものです。

説明会の形式は、地元企業15社の各担当によるプレゼンテーション及び、企業情報を一冊にまとめたカラーパンフレットの配布で、2日間合計

で保護者約50名の参加をいただきました。参加者からは「とても参考になりました。参加できなかったし、参加して良かった」などのお声をいただき、大変好評を得ることが出来ました。

10/9 水 10 木

観光部会 Jetstar★ 利用体験! 成田24時間の旅



千葉県成田市 成田国際空港、成田山新勝寺参加者5名

今年8月に新規就航したLCC(格安航空会社)ジェットスターを利用して、既存の航空会社とは違った利便性や、現在の旅行者の意識・行動の変化を実験する研修を実施しました。

多くの利用者は簡素化されたサービスや成田空港内での移動は全く気にしていない様子。庄内一成田便は利用に工夫が必要な離発着時間ですが、外国人旅行者はむしろ、首都圏の大学に通う学生の一時帰省や、ドイツ・フランス旅行の前泊、中華圏へも手軽に行ける手段として丁度良さそうです。成田空港から東京都心へのアクセスも電車やバスが充実しており、想像よりも不便ではないと感じました。



楽々チェックイン ネット予約時のバーコードをかざすだけで!

翌日は成田市内の視察として、表参道を歩いて巡り、ボランティアガイドの案内のもと新勝寺を参拝しました。千葉県成田市の人口は鶴岡とほぼ変わらない約14万人ですが、交流人口は1500万人近くおり、うち7割以上を新勝寺の参拝者が占めています。外国人観光客も増えていることから、常駐しているガイドのうち、英語対応可能なガイドを2名待機させているとのことでした。

今回、鶴岡市の交流人口をいかに増やすことができるのか、LCCを通じて『今の』観光客のニーズと動向を知る良い機会になりました。



成田山新勝寺は歌舞伎の市川宗家ゆかりのお寺。年間1,100万人以上が訪れる真言宗智山派寺院。

成田名物 うな重

10/17 木 ~ 19 金

金融部会 視察研修

● 広島県熊野町 榎見祐堂
● 山口県山口市 榎木原製作所参加者14名



中小企業庁「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に掲載された広島県の熊野筆メーカー「榎見祐堂」と山口県の農林水産物用乾燥機メーカー「榎木原製作所」に訪問。榎見祐堂は、伝統的な技術を活用して革新的なデザインの花粧筆を生産しており、日本の文化「カワイイ」と高い技術力による「いいもの」を組み合わせ「カワイイもの」を海外でブランド化していました。榎木原製作所は、「ものづくり日本大賞」はじめ各賞を受賞する等、高い技術評価を受けており、その高度な乾燥技術を地域振興にも活用している取り組み等を研修してきました。

鶴岡“深”発見! 10/27 日

大山まち歩き

主催/鶴岡商工会議所 鶴岡商工会議所観光部会
場所/鶴岡市大山地区
参加者/29名



安良町公民館 旧警察署大山分署

松倉山馬頭観音



加藤嘉八郎酒造 志田潔製造部長の解説に聞き入る参加者達

- ★ 大山まち歩きルート
- 福田屋/富士酒造/松倉山馬頭観音
- 大山小学校新民俗館/安良町公民館
- 玉屋/村田靴店/諏訪菓子舗
- 本長/渡會本店/羽根田酒造
- 加藤嘉八郎酒造

地元の食や歴史文化を知ってもらうため、毎年実施している鶴岡市内を巡るまち歩きイベントは、今年で4年目を迎えました。6月に発生した山形県沖地震の復興応援の意味も込めて、今回は酒蔵などに大きな被害が出た大山地区で実施しました。関連団体のご協力により、酒蔵や歴史ある史跡においては普段なかなか聞くことのできない解説があり参加者は熱心に耳を傾けていました。途中、まちなかにある商店では美味しいおやつを頂き、思わず笑みがこぼれる場面も。「芋ようかん」「どら焼き」「甘酒」「栃餅」「お漬物」のほか、参加賞として「かりんとう」という盛りだくさんな内容。大山にはお酒以外にも、地元で愛されるおやつが沢山あることを知りました。

参加者からは「大山は歴史ある素晴らしい町だと実感した」「こんなに多くの歴史的建造物が残っていることに驚いた」「大山が大好きになった」などの感想がありました。当会議所では、歴史深い大山地区の魅力により多くの方に知って頂くことで、大山地区への継続的な復興支援となり、鶴岡市全体の観光振興に繋がることを願っています。



漬物作り百余年 つげもの処本長

10/23 水 24 木

工業部会 鶴岡エネルギー懇談会との合同視察研修

● 青森県八戸市 東北電力(株)八戸火力発電所
● 岩手県盛岡市 ㈱ベアレン醸造所参加者19名

八戸火力発電所は東北電力で最初の火力発電所として、昭和33年に運転を開始。石炭を燃料とした1・2号機および石油を燃料とした3・4号機は経年化により既に廃止され、現在は天然ガス燃料とした5号機が運転中。この5号機は、東日本大震災による電力不足に対応するため緊急設置されたが、その後、



平成27年4月に開催された「世界に伝えた日本クラフトビール」コンテストにおいて、全国200余ある醸造所の中から最高賞を獲得。「日本一のビール」と賞